



新年のご挨拶

JAたきかわ青年部

部長 土田 夏樹

新年あけましておめでとうございます。
青年部盟友の皆様並びに組合員・関係関連機関の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

また、関係機関・組合員の皆様方には日頃からJAたきかわ青年部の活動にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

今年度はたきかわ青年部の部員数が年々減少していたことから、苦肉の策とはなりますが滝川支部と江部乙支部の支部合併を行っており、全体3支部から滝川支部・芦別支部の2支部に減少となりました。それに伴い役員数の減少、IT部の廃止など大幅に青年部内を改編したため、一部負担が増えたりなど勝手がわからないこともあり、新体制の様子見と調整となる年度ともなりました。

青年部活動でもコロナ前と変わらない活動がようやく可能となり、心嬉しい一年となりました。

昨年の活動内容としましては、スノーメッセージに始まり、スポーツ大会ではコロナ禍明け久しぶり

のミニバレーとなるためか、新砂川青年部、ピンネ青年部も力が入っており非常に盛況でした。結果は惜しくも優勝は逃しましたが、懇親会での交流など盟友一同有意義な時間を共有できたと思います。

また、昨年は海外研修で香港・マカオに行かれた方もおり、道内道外の研修では体験できないような経験をさせていただきました。共に研修に行かれた方たちとの交流も頻繁に行われていたようで、かけがえのない交友関係も築けてもらえたことかと思えます。

他にも支部間交流では食育で小学生の児童との田植え・サツマイモ収穫を行っており、元気を分けてもらえた気分となりました。

今年度からは新型コロナの5類引き下げもあり、以前の青年部活動の様相をほぼ取り戻す事ができたことかと思えます。懇親会なども積極的にいき、盟友・JA職員・関係機関の皆様とも交流や情報交換などコロナ前と同様の活気が見受けられました。

最後になりますが、今後も盟友

の減少に負けずに精力的に活動を行っていききたい事と、組合員・JA職員・関係関連機関の皆様のご



新年のご挨拶

JAたきかわ女性部

部長 向井 紀子

新年あけましておめでとうございます。
新しい年を皆様ご健勝で迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。組合員、部員の皆様におかれましては日頃の女性部活動にご理解とご協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月8日のコロナが5類に移行して、経済や日常生活が徐々に戻りつつあるように思いましたが、農業資材はもとよりあらゆる物価が上昇して家計を圧迫しており、前例のない、苦しい生活と経営を強いられています。ほとんどの農作物は異常気象の猛暑の影響で、障害を受けて思わぬ最悪の結果となってしまいました。

水田活用直接支払い交付金の見直しでは、5年以内に水張り出来ないほ場は交付対象外との事で益々高齢化が進んでいる中で、離農し耕作放棄する農地も出てくる

発展、ご家族のご健勝とご多幸を御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

ことが危惧されております。

たきかわ女性部も令和5年度からは、江部乙、赤平の2支部35名の部員で新たなスタートとなりました。それぞれの支部が、小学校への雑巾寄付、学校給食への味噌の寄付、市民への加工の指導などを通じて地域貢献をしております。

このような活動を通じている中でおしゃべりをし、笑うことでストレスを発散する場、学びの場として楽しんでおりますので、一人でも多くの方が参加して下さることを願っております。

2つの支部での研修旅行でパン作りを通して交流を図り親睦を深めて参りました。私たち女性部は食の安心安全を通して家族の健康を守り、地域の繋がりを深め、元気で輝いていられるように本年も、関係各位の皆様のご指導ご鞭撻をいただきますながら進んでまいりたいと思っておりますのでよろしく願います。